



資料提供：花開孚夫氏（つくば市金田）  
編集：木村 滋

### 子どもと動物

子どもは動物に対して、時に、非常にもごい行を  
 働くことがある。然しその反面またこれらに育み、愛  
 撫し頼りして喜んでいらはは羨ましい情景を、しほ  
 しに見受けられぬ

免を売つて貯金すること、鰯の飼育によつて収益  
 をを挙げることも、直接生産とむすびついていて、そ  
 れだけでもりつばな生きた勉強となります。がしかし私  
 はむしろそれらを飼育する過程に、より大きい教育的  
 意義を感じます。

子供たちが、動物を飼育することによつて得られる  
 科学的な知識と共に、その間に培われる純真な、優し  
 い、そして限り、愛の心はまことに尊いものです。  
 この心を失ふことなく、すくすくと伸び、すくすくが出来  
 たなり、世の中はほんなにか平和なそして明るいもの  
 となるでしょう。

根本 養三

---

#### 「さかえ」一二月合併号 目次

表紙 少年と免	栄小教頭 鷹塚 清
題字 少年と免	教育長 塚本 清
扉 学校給食の完全実施	栄小校長 根本 養三
親の心子知らず	小学校使 小学校使
子供のしつけ	弘教委員会使
免 題 録	二 此からの麦の管理
子供と読書	五 白茅支私単極表
お家で一番いやなこと	トマト留種と早熟
希望を持たせたい	七 村議会の議決事項
ゆくゆくを育てたい	八 新入館図書目録
私の希望	成人式典とその人々
身につく理科学習	四 青年会使
理窟の多い子	五 栄村新軍俳句会
立派なからだを作る	六 特志寄附
兄弟げんか	七 青年学級二月時向表
指導者講習会に参加して	八 電話室
敬愛のありかたと働き	九 栄村した祝賀会
	一〇 国鉄バス時刻表





# 学校給食の完全実施

小学校長 根本 養三

最近学校給食の重要性が認識され、都会地ばかりでなく農村地域にも完全給食を実施する学校が漸次増加してきました。特に本年は未曾有の凶作とも関連して、真敷にこの問題がとりあげられています。以下学校給食についての概要を述べて皆様の深い御理解をいただきますと思います。

## ●学校給食は何のために実施するのですか。

学校給食は教育計画の一環として実施するものであつて、特に児童生徒の合理的な生活学習を實踐する場とすることに努め、あわせて地域社会に於ける食生活の改善に資するために行うものです。このため次のような目標が考えられます。

- 一、人間生活に於ける食事もつ重要な意義を認め、みんなで楽しい会食することによつて、民主的で明るい社交性が身につく。
- 二、日常生活に於ける望ましい食事の習慣が身につく。

## ●完全給食とはどんなことですか。

完全給食とゆうのは、パン・ミルク・副食をゆつてカロリー六〇〇、蛋白質二五、以上の栄養基準量を保持するものをいふ、ます。

献立の一例をあげますと次のようになります。

パン、ミルク、うづら豆甘煮、味噌汁

材料名	数量	蛋白	脂肪	熱量	価格
パン	一四二	二二	〇九	三八三	
ミルク	二二	八〇	〇二	八〇	
うづら豆	三〇	五	〇四	九二	
さとう	一〇	〇	〇	四〇	
油	七	〇	三〇	三四	
みそ	一五	二〇	〇六	二四	
大根	三五	〇三	〇	六	
だし	二〇	〇七	〇〇	三六	
計	二九二	五・一	六六	一、二四二・五	

これを昼食等に与えるのですが、一週間に五日、四日、三日と実施する型に三通りあります。

## ●費用はどの位かかります。

完全給食をする学校へは、パン原料の小麥粉が半額口で負担しますので、コッペパン一個(一三八)の値段が五円です。ミルクは全額國庫負担となりましたので、副食物と合せて一面平均十二、三円となります。

## ●これについて本村の計画は?

本村に於ては、新農村建設総合計画の一環として食生活の改善をとりあげ、粉食の実施によつて大いにその実を挙げようとしております。先づその手始めとして学校給食の完全実施を計画して御父兄の絶大なる御協力をお願いする次第です。

その場合児童生徒一人の経費は、その一部を村が負担し、週三回実施するとして一ヶ月平均一〇〇円以内にとどめる方針です。尚納金口現金ばかりでなく、現物納入も認めることになっていきます。

これによつてどの位の米が節約できるか計算してみますと、一回の弁当が米一合とすると、週三回実

三、日々の合理的な食生活によつて、健康が増進する。

四、日常生活の食事に関連するいろいろな仕事と責任を、科学的、合理的に処理する事ができる。

五、食生活が科学的、合理的に進歩向上する。

施するとして年間約一〇〇圓(八月を除く)一人一斗一升の節米になります。これを小中学校の生徒(六〇〇人)全体で六六石、一六五俵の米が節約されることとなります。

以上学校給食についての概要を申上げましたが、既に完全実施している先達地を視察した状況によつても、如何に効果があつているか、はつきりしております。しかしながら実施に當つては、いろいろな御意見、或は御懸念等もあることとは存じますが、この国家的教育的意義の重要性を深く御認識されて、完全実施へと一歩前進されますよう絶大なる御協力を切にお願いたします。

(完)

「親の心子知らず」「子の心親知らず」(中学校)

世の中に於て相手の心が正しくわからないのに不愉快な毎日を送つたり、争つたりしている事が、みんなにあるかわからない。何とかして相手を正しく知りたいものだ。そして平和な争いのない家庭や社会をつくりたいものだ。親は子の心を、子は親の心を、教師は生徒の心を、生徒は教師の心をこのように人と人との心がわかつたら、どんなに住みよいことだらう。





### 子供のしつけ

小学校 鷹巢 清

「生れより育ち」という誘がありますが、人がらというものはその人の家庭環境によつて作られるものであるということをも最も端的に言い表したもので、このことは示す通り、家庭ほど子供達への影響力をもっているものはありません。これに家庭というものが朝夕子どもの育つところであり、生涯を通じて一番つながりの多いところだからであります。家庭環境の中でも最も影響力をもつものは両親の人からと生活態度である事は申すまでもありません。「この母にしてこの子あり」という言葉も如何に母親の人がらが影響するかを物語つていてと思います。不良児といわれる子の多くは申し合わせた様に欠陥のある家庭から出ております。絶えず繰返される両親の不和とそれによつて家業の心を支配する不愉快な感情、そうした不健康な家庭の空気に生活する純真な子供の心は素直であり得よう筈ありません。必ず下心はゆがみ、ひねくれて、溺たされない不満を社会のどこかに、然も不合理な手

段によつて満足させようとするでしょう。

家庭に常に明るく、楽しく、平和で、子供達を暖かく包んでおらなければならぬと思ひます。この様な家庭に育つ子供は本心に純真な心情をのびのびとし、素直に生長していく事でしょう。然しこうした明るい家庭の中にも、我が子を愛すれば愛するほど正しいしつけをして民主社会に立つて秩序あり教養ある生活をなし得る様な人がらを育ててやることは親としての大きな責任であると信じます。そこでどの様に親をするかが問題となつて来るのですが、前にも記しました様に親をする両親の家庭生活での態度こそ、親の根本と考えますので、親としてどの様に生活し、子供達に接するのがよいか……を反省してみることも大変意義のある事と思ひます。次に子供の声をまとめたものを参考までに記してみましよう。

※嫌いな両親は

1. むやみに叱つたり、なぐつたりする親
2. 理解のない親

。わりに仕争をさせる。子供の希望や願いを聞き入れてくれない。

。勉強に無理解である。

学校を休めと言う。勉強している時仕事をいつける。

3. 夜遊びばかりする。帰宅がいつも遅い。朝寝やつあたり、暗いのがい煩。返事をしないヒステリー
5. 不親切で思いやりがない
6. 物の道理がわからない
7. 夫婦仲んかをする
8. 必要な金をくれない。小遣金をくれない
9. 金をくれる時、きつと文句を言う
10. 平気で子供との約束を破る。うそいう
11. 兄弟に依怙ひいさをし。平等に可愛がつてくれない
12. なまけて仕事をしない
13. えはつていて、子供の意見などとり上げてくれない。がみくゝとなりつける
14. 体が弱くていつも暗い顔をしている
15. 下品で、みだらな事を平気でいう
16. 不精で家の中や食争などすべてきかない

※好きな両親は

1. した事に対して、よくほめてくれる
2. 理解がある

無理な仕事をさせない。希望をきき入れる。勉強の時間を与えてくれる。勉強の話し相手になつてくれる。一緒に遊んでくれる。

3. きまりがよい
4. いつものにこにこしている
5. 言葉がやさしい。思いやりが深い
6. よく物の道理がわかる
7. 両親が仲がよく、朗らかでユーモアがあつて家族を笑わせる
8. けちんばでない。おみやげも時々くれる。小遣金をくれる
9. 約束した事を必ず守つてくれる
10. 依怙ひいさがなく一様に可愛いがつてくれる
11. 自分から先に立つて、切く、まじめ
12. 何ごとにも相談の上で納得の行くようにする
13. わかるように注意してくれる
14. いつも健康でにこゝしている



け、きれいづきで氣持がよい、よく洗濯してくれ  
り、つぎをあて、くれる。

16. 為になる話や世間の出来事を話してくれる  
以上子供達の親への声を箇條書に記しましたが、ど  
の様な親であつてほしいかという幼ない魂の訴えがよ  
く承解され、なるほど反省させられ平に口おられま  
せん。私達親も勿論、神ではなく未完成な人間であり  
ますので前述の「好きな両親」のすべての條件を到底  
備えることは不可能であります。子供達のしめわけ  
の為将来の子供の為、折にふれてこの様な反省を  
重ねながら、よい親となり子供達から信頼され尊敬さ  
れ心から親しまれる様にとめたいものと考えます。  
教育は信じ合い尊敬し合うところに於いてのみ立派  
な成果をあけるものだからです。

無題

中学校から

朝早く来て、ゆくゆくとお掃除をしている子供、  
朝礼にもおくれて来て、平気でいる子供、  
夜おそくまで自分から熱心に勉強する子供、  
さまつた時間さへ友達に迷惑をかけている子供、  
まらまらな子供だが少しでも向上線に向わせたい。

子供と読書



小学校 酒井 邦夫

まずあらゆるおとなたちが、次代の子どもたちへの  
善意の願ひとして、悪書を口なれて良書を読むようにな  
つてほしいということ。それは親や教師の願ひに直  
接につながつてくる問題で、読書に親しみ、読書を生  
活の中に生かし、読書によつて生活を、人生を、社会  
を考えていく力をゆりたてていくためにこそ、今後に  
おける大きな読書指導の課題でありましょう。

従つて、今の子どもたちは、どんな本を、どんなふ  
うに読んでいるだろうか。子どもたちは、読書からど  
んな影響をうけているだろうか。子どもたちは読書生  
活の中に、学習の中に、どんなふうに関与させている  
だろうか。子供の読書の現実をたしかめてみなければ  
なりません。子どもたちをとりまいて、読書環境は  
、けつしてのぞましいものではない事は注目しなけれ  
ばなりません。また、学校に於いては別として家へ帰  
つてからの子ども読書の読書は、正しい読書とは言えない  
状態にあると言つても、あやまりではないでしょう。

なせなら、子どもは面白いと言う事にはのみとらわれ  
読書の眞の価値を読みとる事が出来ないからです。そ  
こに学校図書館の重要さと任務があるわけです。その  
ため子どもたちの読書生活の現場をよくすることが  
ここで口問題解決の「カギ」でありましょう。

現実の子どもの多くは、判教的なスリルや怪奇  
的な格闘や感傷的興奮をもつて読書の面白味と思つて  
いる。い、本を読む意欲、興味、必要を、子ども  
日常生活の中でわきたたせる方法を考えることが、学  
校図書館のねらいでもあります。子供達の読書を  
ゆがめる障害のひとつとつて見つけ、単なる気はら  
しの読書、興味を本格的な読書生活へ方向する再念  
なしことが学校にはあるわけです。

私達が子どもたちの読書について、いちばんおそれ  
ていることは、子どもたちが、低い給ものがたりのな  
安易な面白さを退つかけて読むことや気はらしのため  
に読むやうな生活が継続されると、それが積極的  
に悪い内容のものでない場合でも、ながいあいだには、  
おそろしい氷山の一角となつて表われてくるのです。  
併し、最初から価値のある程度の高い読み物を要求

すること無理であり、そんな事は出来ないのです。

子どもには発達段階があり、幼児には離乳期がある  
ように段階に応じた読み物があるわけです。このこと  
はふつう「しつけ」とよばれるもので家庭において  
これは考えなければならぬものでしょう。たとえば、  
痛快読み物と呼ばれる時代小説や、冒険小説あるいは  
純情少女小説にある封建性等として問題にすべきほど  
でないとしても、ついに量的になると、離乳期を忘れ  
た甘い環境に育ち成長を「むしはむ」ほどの害をうけ  
ることになる。その点毎月行なわれている学級PTA  
会は大きな意味をもち、離乳期を受持つ教師と相談し  
正しい読書を子どもに進めることが出来ましょう。

学校での読書指導は、読みものによつて子どもたち  
の生活を豊かに作りあげるしごとをしていますが、読書  
によつて知識を増し情操を高め、判断力を養い、教養  
を深めたり生活を樂しむほか、さらに読み物を研究し  
その内容を生活に生かして実際に活用した科学的な生  
活を営むことが出来るようにつとめている。

実際の例では、私の組である子どもが休み時間、い  
や、ひまさえあれば本を読む子どもが多くなつて来ま



した。ある学校PTA会のとくに、その中の父兄が私にこんなことを言ったのです。「こまつたゆのですよ、本を見ていると、なにゆやらず、本からはなれようとしなないのですから」この言葉に一寸私ゆ困りました。

読書することは結構ですが、規律ある本の見方、読書の仕方ではなければ、いけないわけですが、でも子どもの中の口それがありがちであり許される面もあるのではないのでしょうか。又小学校高学年の読み物にはどんな読物があるのでしょうか、このやうな傾向に対しては次のように答えました。「少年文学、地理的、歴史物語、偉人物語、伝記等の読み物が適当かと思えます」併し、決して高いものを読むことを要求しているわけではなく、子どもに能力に合った読み物から、だんだんとその方向に進むことを望みます」と父兄の方にお話をしました。その子どもたちの毎月の生活をみていますと、五年、六年とその読書力は向上し、昨年の十一月に読書テスト（読書力をみるテスト）を実施した所、精神手令が高等学校一年生程度の子どもが三人も出たのに驚ろきました。その子どもたちは例外として他の子どもで成績は余り目立たない子どもが

最近國語の力がつき、学力の向上が目立つてきている事実に、読書の力の大きいこと、又その子ども毎日の生活態度が希望に満ち明るい毎朝であることに注目せざるをえないのです。

今後の子どもの生活をよりよくするためによき読書の「しつけ」を考えねばならないと思えます。

### お家で一番いやなこと

小学校児童作文

私は三人兄弟で兄と弟があります。お父さんは弟にばかりおこすかいをやって私には時々しかくれません。兄さんにも良いもの良いものといらないものまで買つてやるので私が一番つまんないのです。弟とけんかした時なんか私の方のわけは少しもきいてはくれません。「お前が悪い。姉のくせに」といつて弟が悪い時でもおこられる口いつも私です。おみやげなど弟にはたくさんやつて「私のは小さい」と言いと「またゆんくをいう。ゆんくをいうなら食べるな」というので私はだまつてたべるより外ありません。年が上だと何んでもこんなふうにしなればいけないのでしょうか。



### 希望を持たせたい

中学校長 猪俣 三郎

「少年は大志を抱け」これは札幌大学を去るに當つて、クラーク博士が残した有名な言葉です。子供の毎日の生活をみてみると、このやうな希望を持つているものは張切つた勉強をつづけている。ところが、希望をゆつていない者は学習の興味もなく、自分の勉強をしないばかりでなく、友達勉強の邪魔をして、全体の迷惑をかけている。こんな生徒ほどこの学級にゆ少

しづいて、全体の気分を乱し、この指導にゆ少苦心しているかわからない。

戦前は國民がすべて兵隊にゆかねばならないという争が、この子供の念頭にゆあつた。だからろく／＼勉強ゆしない兵隊になつて苦勞したら大変だという考があつたと思う。軍備についてこの善悪は別問題として、その争だけでも誰も目的をもち希望を持つていたところ、今ゆそんな事はなない。将来の希望をゆつきり抱いている子供は少なくなつた。将来の希望をゆつき

い子供は不幸である。又子供を持つてないやうな社会に成長している子供は不幸な事である。しかしそのやうな世の中であつても明るい希望を持たせたい。どうせ百姓になるのだから勉強しなくてゆい。どうせ工場へ就職するのだから、英語なんかやる必要はない。こんな考を捨てたいものだ。むしろそのやうに中学校の勉強が最終となる生徒こそ充実した勉強をしないでゆならないと思う。だから下ゆ農家に従う者も、就職する者も、それぞれ希望をもち、むすかしい勉強は必要ないという考を生徒も又父兄の方でも捨て、厳し度い。

### 生徒の進路に即した指導

中学校を卒業すると高校へ進学する者、就職する者と卒業につく者とに分れる。そのために生徒自身が能力興味要求将来性という点をよく考えるやう指導してゆります。又教師も一人ママの生徒についてよくわかつていりますので、助言と指導をするやう努力してゆります。これ口こままでゆ生徒自身の問題で親任せというやうな態度ではゆまいと思えます。又親としてゆ親の野心や名誉心によつてのみ子供の進路を決定して、押



しつける事はまづいと思ふ。どこまで子供本位の考  
で子供の幸福のため、親の面子のためでないことを  
十分考慮していただきたい。

学校としてはこのやうに生徒の進路がまらぐであ  
るので、生徒の進路に即した指導をするように心掛け  
ている。進学する者は進学出来るような指導を、就  
する者はその方面の指導を、家業につく者は家業の指  
導を重視している。小学校は普通教育なので、どの子  
供もみな一様に指導出来ませんが、中学校は生徒の進路  
によつて、英語と家業とを選択して学習する仕組みに  
なつてゐる。何時もくみ一様に指導することが中  
学校教育の本旨ではない。一年生は一般的に指導して  
いるので問題はないが、二年に進むと選択教科別に学  
習する時間ができ、更らに三年に進むと進路が一層は  
つきりしてくるので、それをその生徒の要求に応じて  
大部分の学校に於ては進学コースと就職並家業コース  
の二組に分けて指導している。

### 職業教育

現在この方面は職業家庭科という教科目を中心とし

て指導している。これは一面産業教育とも呼ばれ、中  
学校や高等学校の教育で重視されている面である。わ  
が國の産業を復興するためにも是非この方面の教育は  
特に努力しなければならぬ面である。これは後で細  
かい説明がありますが、実習地や作業場その他の施設  
を要しますので、現在の校地に於ては遺憾ながら不  
足でありましたが、将来新校舎に移転次第、村当局の御理  
解をいただいで、施設の充實をはかつて、特にこの方  
面の振興をはかりたい。

### 就職指導

従来本校に於ては卒業後すぐ就職を希望する者は二  
三名の程度であつた。そしてその就職も殆んど縁故就  
職で、職業安定所を通しての就職はなかつた。ところが  
本年度は約十名許りの希望者があるので、安定所と  
連絡しあつせんに努力中でありませう。

現在わが國に於て農家の次三男問題がやかましく論  
ぜられてゐる。申す迄もなく農家ではこれ以上耕地を  
区分する事は出来ない。農家の次三男は就職しないので  
そのまゝ、家業についた場合には、他家へ養子にゆくと

したら問題は無いが、そうでないとしたら二十才頃になつて親も本人もあわて出し、不熟練労働者として農村になつてはならないであらう。こんな人達を潜在失業者とよんでいるが、この問題の解決には國家として大きな問題である。又一人一人の親としても十分考慮していただきたい。

### 進学指導

一 高校の選択について、

高等学校へ進学させることは決して親の虚栄心や外聞のためではない。どこまでも子供の能力に依じた職業を選択し、教養をつみ技術を習つて、社会人として立つに生活するためののです。

親の常として少しも有名校へ入れたいというのは尤もな事です。しかし子供の能力を考えないで、ただ有名校へ入学させたとしたらどうでしょう。段々勉強が友達に追いつけなくなり、楽しい筈の学校生活に希望を失ひ、不安失望の果ては自暴自棄となり、不良化する場合ぬいとは限りません。ですから学校の選択には十分学校と連絡していただき度、学校としては知能テストや今までの学習の結果などの資料に基づい

てよく子供の能力を判定して御相談いたしております。たゞ学校としてはどこまでも参考意見で、最後の御決定は勿論父兄の方にしていただいでおります。

### 準備について

毎日規則正しい生活をして、健康にも十分注意して最後の勉強をさせて下さい。勉強は基礎になる力を十分つけておく事が大切です。

### (一) 本年度の学力検査

(1) 学力検査受験願書受付期間 二月八日より十日まで  
(2) 学力検査 第一日 二月二十五日

第二日 二月二十六日

(3) 学力検査成績を中学校長に通知 三月三日

(4) 入学願書報告書受付期間 三月十日より十五日までの合格発表表 三月二十三日

本年度の学力検査は英語も行なう事になりましたが、これに選抜の資料にはなりません。学力検査を受ける時は希望高校を決定しなくてよい事になっています。学力検査の成績がわかつてから、高校選択の助言をいたしますからそれを参考として決定の上、入学願書を提出する手続きになりました。





### 働くよろこびを育てたい

中学校 市村 芳男

この問題については、弘報に又部落PTAに、論じてきましたので新しいことでもありません。

然し重要な問題であり、中学校教育の生命でもあり本村の生徒にとつては切実な問題でもありますので、新校舎の完成を期して、再び申し上げる次第です。全国的に中学生が家業の手伝いのため、又経済的負担のため、不就学、長期欠席が多いのです。

本村でも柿岡、出島方面にこの様な声をきき、まず、然し本村で口辛いことに、却つて家業手伝いを奨励している有様です。洵に子供にとつては、恵まれた環境に育つてゐるわけです。学校に行つてゐる間は、子供の口もあてにしないという父兄の考え方も正しいと思ひます。

子供の生活の実態を見る時、小人閑居して不善をなすの弊はないでしょうか。余暇を善用することは、大人に取つても難しい。この点の指導に手ぬかりはないでしょうか。ここに学校と家庭が協力して、学業に差

支のない程度の家事の手伝いをさせて、家庭生活の中にも働くよろこびと、働くことの尊さを味わせる様な指導がしたいのです。

学校教育は広い意味で、職業教育であり、職業指導であると思ひます。過日中学二年生が職業の勉強をしました。「毎週何故職業を持つのか」と質問した処生活のために金をとるのだ」と直ちに答えてくれた。「では金があれば就職しないで良いことになるが」と反問したら、生徒達口、しばらく考えていたが「自分の最もすぐれた才能を社会のため活かして、國家、社会を進歩させるのだ」と、答える生徒がいた。全体の生徒もこれには、異議がなかつた。中学二年生でもこの様な職業観を持つてゐる。こんな立派な職業観を持つてゐるが、子供ですから、観念的であつて、毎日の生活との結びつけや、将来の職業についての具体的な心の持つていない。勤労の愛好も、勤労精神の尊さの観念的で、生活とはなれた抽象的なものです。これを身につつけさせ、具体性を持たせるためには、生活の中で結びつけ、生活の中に芽生えをみつつけて、これを学校と家庭で大切に育てなければならぬ。

### 一、子供は働くことをよろこんでゐるか。

朝の清掃、放課後の清掃で身支度もキリキリと、清掃用具を手に手に持つて、自らの学び舎を清潔にしよふという意欲に燃えて清掃にとりかゝる生徒が少ない。勿論教師の指導の反省もさることながら、家庭でも十分注意してゆかねばなりません。これは学校の指導より家庭の躰けが大きい影響がある様です。真先に掃を手にしてしまつて、手をぬらすまいとか、うろうろして清掃の終るのを待とうとか、手をぬいて早く終らせようとする様な態度が高学年になるにつれて増加して参ります。

一、二年男女全生徒が小麦栽培を担当区域に分けて現在栽培しています。家庭から木灰をゆつてきてかける者、数回麥踏みした者、一度も播種してから見ていない者、いろいろの段階に分けられます。農家に育つていながら、肥料の名も、成分も全々分らない者も相当あります。如何に自分の家の職業に無関心であるかが分ります。働くよろこびを知らない子が多いのには、驚きます。封建社会的な働く者を卑しいとする考えが子供心に育つたら大変だと思ひます。

### 働くことに口舌が伴いません。学校では整地した黒

々とした美しい土に、自らの手で種子を蒔き、自らの手で肥料を与え、日増しに青々と伸びてゆく小麦の成長に、又穂りのよろこびにひたうせたいと考えて、各自に分担させて栽培してゐるのです。こうして苦勞を克服した後の成果によるこびを感じさせることが、勤勞のよろこび、生産のよろこびを自覚させてゆくのではないかと考えます。子供は面白い間はやるが、興味が失せるとやめてしまひます。従つて苦勞を克服して成功のよろこびを味わうまでに至らないのです。この境地は学習にも、体育にも、すべての生活に共通致します。「隣りの子が遊んでゐるのに、家の子だけ手伝ひには使はせられない」とかききます。又「親の虚栄心から子供を遊ばせておくのだ」という人もあります。子供は、紙上のテストさえ出来れば通信簿もよい成績だし、就取も出来るのだという知識に偏した考え方を改めていきたい。父兄は子供と相談して、一日の生活の時間割を作つて節度のある、生活をさせるようにしたい。家の労働力として子供の労働を当にするのではなく、子供の幸福のために、計画的に、教育的に



然り子供の能力に依り、學校生活に差支えない程度の家業の手伝い、家事の手伝いをさせて、幼くよるこびと、生産のよろこび、幼く態度を養いたいものである。風呂、清掃、調理、養鶏、養兔、園芸等々やらせている家庭がありますが、私共の望んでいる方向であります。

### 二、幼くよるこびと中学校教育

經濟生活や職業生活の維持発展とその改善は、我が國の復興のため、最も重要な面でありますので、中学校教育の全体を通して、民主的社會における經濟のしくみや、生産、流通、消費に於ける互の深い關係を理解させ、職業生活を営むにあつて、能率をあげるために必要な各種の能力などを生徒に身につける必要があります。特に勤勞愛好の精神をゆつて仕事に身を打ち込んで、幼く態度の養成に努めなくてはなりません。新學制以前は農村の小学校高等科で、農業の先生が農業を、裁縫の先生が裁縫家事を指導して、農業の知識技術を授け、裁縫家事の技術を指導したのでした。現在では中学校教育の目標の中に

1. 生産増強の必要な理由を理解させ、生産を通じ

て、個人及び社會の幸福を増進させるため幼くよるこびにする。

2. 職業や家事についての基礎的な知識、技能を修めて能率的によい仕事をすることが、できるようにする。

3. いろいろな職業についての理解を広め個性を自覚して自分で自分の個性に合つた職業を選択することができるようになる。

4. 自分の仕事に誇りをもち、幼くこびによるこびを見出し、努力精進する人になる。

5. 仕事の能率のあがる方法を絶えず工夫して、その仕事に成功するまで努力する。

以上の様な目標は中学校教育全体を通して努力するのですが、直接担当する教科は職業家庭科であります。

### 三、職業家庭科を理解して頂きたい。

前述で従米の農業、裁縫家事と、現在の職業家庭科の相異なる点の概要はお分りになつたこと、存じます。實際の生活に役立つ仕事をさせることによつて、仕事についての、基礎になる知識や技術を身につけさせる。職業人、家庭人となつた場合、仕事が科学的、能

率的にしかり安全に、明かるといふ態度で、協力的に進めることができるような能力を与えてやること、職業家庭科のねらみであります。實際の家庭生活、職業生活に役立つ仕事を通して、幼くこびの尊さを心から理解させ、よろこんで楽しく幼く態度を養うために、職業家庭科の範囲は洵に広いのです。作物の栽培、飼育、食品加工、木工、竹工、金工、皮細工、セメント工、印刷製本、荷造り、紡績、染色、わら細工、裁縫、洗濯、衣服の手入、機械の操作、衛生、幼児の保育、製図、文書事務、経営記帳、調理等男女共通に、又は分けて指導せねばなりませんので、施設、設備の費用は容易ではありません。

現在までの検地では到底目的の達成出来ません。職業家庭科を満足に指導してゆくために約二百万円の施設及設備費を必要と致します。十ヶ年計画でも容易ではないと思ひます。指導の範囲も広いので、農業担任では満足な指導は出来ません。商業、工業、農業、林業、水産業等産業の各部門の技術を身につけた先生で組織せねばなりません。村内の施設と村内の専門の方々の協力なしでは、指導が十分に出来ない状況であ

ります。新校舍と共に広い敷地を持つのですから父兄及、村内各位の助力によつて、この教科を互に指導してゆきたいと思ひます。家庭に於ける幼くよるこびの芽生えの育成と、學校に於ける職業家庭科を中心とする産業教育によつて村の生産を如何に改善するか、村の生活をいかにするか、更には綜合開発の方面にまで貢献出来る様、各位の御協力を頂き、中学校の生徒が産業教育により活氣が出るように努力してゆきたいと念願してあります。

### 私の希望

中学校から

進学を思いこまじ新しき望みにあつてわが心かな、高校への進学、それは私にとつて実に大きな希望であつた。けれど家庭の事情によつて中止しなくてはならなくなつたのです。己むを得ない事情といつても仲々あきらめる事出来なかつた。時がたつにつれてやつとあきらめる事が出来た。それどころか新しい大きな希望がわきおこつて来たのです。今も高校へ進学する事だけが幸福ではない事かわかつてきました。それ以外の道を進んで幸福を開拓してゆく決心です。



# 身につく理科学習



中学校 栗栖 三男

一 理科の勉強で注意したいこと  
理科の勉強を家庭でも具体的に考えて頂きたい。たとえば、家畜の飼育や、野菜植物等の成長観察及栽培等、機械動力及電気機具、燃料等、生活から、知識及技術上の問題を発見することが出来ると思います。そして学校での指導を合せて、継続した勉強をさせたいと思います。それ等が生産的な教育として、社会にでも本当に生活に役立つ合理的な勉強といえると思います。

## 二、中学校理科指導上の難点

の 教科内容と教師の教... 知識及技術的な配慮を考へる時、教材全般に渡つて精通するには一生涯の仕事です。どうしても教材の消化不良にならざるをえません。そこで分業的に教材を更に取扱うためには、外来の専回家の援助を期待したいと思ひます。クラブ活動に於ける理科指導もこの様な型式で行へば、生徒の学習も大いに進歩する面があると思ひます。

の教材の配列について

学習指導上、生徒の発達段階に適合している教材を選定して勉強していくものの、三年の基礎知識が二年の応用問題として出されていることがあります。家庭でも時々教科書やノートを見られて口頭質問で色々しいたり教えたりして批判的な気持を起させて下さい。学校での詳細の結果ばかりでなく、記録、観察、考へ方等生徒の動きにも重点をおきたいと思ひます。

## ③ 興味中心

就私及進学となれば試験です。生徒の興味のあるなしに抱ら下「知識は力なり」の事実があることを考へて下さい。中学三年の指導口全く微妙なものがあります。興味がある時は本當に知識に実験にもくつついて来ますが、反対の場合であつても指導を必要とするのが今の中学教育現状です。

## ④ 実験機器の保存について

男生徒は、ゆすれば、粗雑に取扱います。費用のかかつていることを深く認識させ、学校及家庭などの物品も大事に取扱させるよう、御注意がいたします。予算について。

今所有している他に、完全に並い実験具を揃へるとせはどの位かかるものでしょうか。

ガラス器具	2,800.00	液	特	1,100.00
機	6,000.00	光	特	20,000.00
水	37,200.00	液	特	16,430.00
水	14,940.00	液	特	21,800.00
水	53,200.00	液	特	27,000.00
液	9,100.00	液	特	3,300.00

二十数方を必要とし、これについての指導技術も仲々大変なものであることが、考へられるでしょう。結論として、本當に子供の身についた理科の学習には、設備と専門の教師の良心的な指導こそ、大切であることをのべた次第です。

## 田 理窟の多い子

中学校から

この頃の子供は理窟ばかりいつて困る。たしかにそうです。しかし一応は子供の理窟もきいてみよう。そしてその理窟が正しいか親のいう事は無理だかよく判断してから親のいいつけに従わせたい。親はまちがついていても親のいう事を無理にきかせようとしたり、子は納得しないでしょう。



## 立派なからだを作るために

中学校 藤 沢 卓

立派なからだを作るという事は、体育の目的ですがからだは立派になつても、精神が立派にならなければ、本當の健康とは言えない。身心共に健康な生徒をつくるのが、体育の目的なのです。「運動の選手には不真面目な人が多い」と世間の人達はよく言つておられますが、これは高等学校にはあるかも知れないが、中学校に於ては身心共に健康な者が選手として選はれている。又学校では相当精神面の指導も行なつてい

る。次に運動と健康の関連性ですが、これがお互に反比例的関係にあるのではないかと考へる人が多い。然しこれが両立するといふ事は、すでに本校に於いて実験済みです。「良く遊び良く学べ」という言葉があります。やハリ、身あつての学向です。学向をする前に先づ立派なからだを作つておかなければならない。

本村の生徒の様子を見ると一般に運動を好まない者が多い。これには色々な原因があります。先ず運動に



する関心がうすいという事、これは一つとしての勉強の方面にその力が、そそがれている。という点のゆゑ一つ大きな点としては、中学生としての運動場が充分でないという点にある。現在では中学生として興味がある。球技及競技種目はほとんどできない。ここに今まで生徒が満足感を得られず従つて興味のわいて来なかつた点がある。

例えはちよつと野球をしてゆ、力が少し入り過ぎてガラスを割り先生からしかられる。といった具合でこれでは生徒のびく／＼と運動が出来ません。

然し幸い、目前にひかえた新校舍移転によつて、こゝうした生徒のきゆうくつさがなくなり、のびく／＼と運動が出来、今までの理想が生徒の前に実現されようとしている。そしてやがて生徒達の運動熱も高まり、各種の運動技術の向上と共に運動全盛時代になり、球技競技に於ける、西部班の王者となるのも、遠い将来ではないでしよう。

次に生徒の運動と、生活態度との関係ですが、中学生ともなれば、ゆう相当の体力的余裕を持つている。この余裕が、健全な運動方面に廻れば良いが、運

動場が狭いために、や、あすれば、悪い方面に利用される例がないでもない。然しこの様な時充分楽しめる運動が実施出来る場所があつたならば、生徒自身はのびく／＼と楽しくやつて行くことが出来るでしょう。その他に、生徒の事故防止という点からみて、広い新運動場で、運動の出来る事は、何よりの仕合せです。

### 兄弟けんか 小学校から

独り子でない限り兄弟けんかをしないて育つた方はないでしよう。或意味では子供は衝突しながら暮していると言えるかも知れません。なぜかう衝突突し喧嘩をするのでしょうか。それは子供達の物の考え方が総て自分本位で他人の都合とか兄弟だからと言つた。つまり道徳的社会的な判断が幼稚だからです。無ゆ子供達の心理を知る事が大切で、



### 茨城県PTA 指導者講習会に参加して

中学校PTA会長 酒井さよ

秋雨けぶる九月十九日二十日県PTA連合協議会は下館町に指導者講習会を開催されました。小省私共参加出来ましたことを心から感謝して居ります。丁度この日朝大時三十分の自動車に乗車いたしました。途中雨は益々強く下館着の折は突に豪雨にて会場校庭はあふるる水でございました。然るに熱心なる受講者は各市郡より集り百名程に達しました。県よりは社会教育課長外主事講師としては文部省社会科事務官二宮先生を講師としてお迎えいたしました。両全式に就いて、二の宮先生の御講演でございました。その内容の一端を御照会いたします。

PTAの組織について

人地域の組織活動をつくること

○部落集会所PTAの実体又は民主的町内会 基礎となるこの二つの中心が教育によつて結ばる、つまり民主的団体である。その研究課題としては、教育の根柢を根柢を知る。

### 2 人間性への修養をつむ

自分の目に見えぬ所に教育のあることを知つて進む。故に信念を持つて進む事が文化社会人としての勤めである。

### 3 同学自習 各の個性が延びる様又部分的にも知的

生活の教育を圖り、人間発展の可能性を社会的に養うこれが社会と先生及親の役割である。それには環境を作ることである。環境に切さかけ行動にあらわし、悪に対する抵抗力を養い正しい行動のできる形成力を養う。この環境は何人何人の子供の世界にふれた環境でなければならぬ。つまり環境にあてはめて行動させつ、指導する。又積極的に環境にぶつつけらせる、積極的とは自由にやらせ、放任させる。けんかややらせてあまり指導してかたに口のないで、子供自ら反省して正しい行動ができるようにする。

### 補導子供の世界にとびこむ 子供を尊重する。個性

と興味の一貫性を図る。つまりPとTとは環境になるPとTとの限界はない。愛情にも限りはない。共に感謝の意をもつて子供の人格を尊重する。そして相互心自尊心を高めることが肝要である。



先生は子供自身にまかせる。子供達がいひの力によつて、進歩するように助言してやる。子供自身の自力を培う。出来る限り具体的に進ませる。

輔導委員は、よいおぢさんおばさんとなり校外指導に当る。カレンターを作つたらほめてやる。又ほいましてやる。又親子日記をつける。斯様な事によつて輔導に十分なる力をいれる様にお願ひしたい。

PTAの

(1) PTAの本質を見つめて

(2) 現実を一步一步ふまいる

(3) 心気よく理解する

旧性は不変の上に成り立つてPTAの本質に花咲くものである。そして現実の一步一步を歩むのである。

PTAのポイント

の母の心より起る子供への愛は時代を越えて永遠の心のである。

(2) 子供の幸福を考えて(子供のすくく)とそだつ環境をつくる(学校の設備をよくする)つまり物質的援助と精神的援助を法律にしたがつておしみなくあたえる。年度の予算面をその年に必ず案を立てる。予算を

教育委員によつて作つてもらう。公正な意見を取り入れて争をする時教育委員に出席してもらう。

(3) 子供の生活にあたる。親と先生がとけあつて子供の生活の指導をする。

(4) 子供を思うPTAは親も又向上進歩がなければならぬ。やつぱり自分をかえりみなければならぬ。即ち親の生活を反省してみなければならぬ。

の教育団体である教育のわくにそつて教育する。あく迄中立性をまもつて行かねばならない。又子供の成長の中に宗教心を養つてゆく(宗派を越えて尊敬し、組織をもちつて立つことはいけない。故に中立性であることを強調したい)

(6) 民主性 PTAは皆んなの会である。これを徹底すれば民主性である。一人一人の意見を尊重してPTAの方針をきめる。基本線を申し合せて決定する。つまりそれが生みおとした規約を愛して又尊重して実行に移すようにすれば責任をもちつたPTAということができる。

以上の事は、ほんの骨組です。よりよい組織と愛の力によつて普く青少年の幸福を求めたいのです。

教育委員会

在り方と動き

教育長 塚本 清

教育は國家興隆の源泉であります。日本の政治も経済も文化も、いかなる制度組織も究極は私たちが國民によつてになわれ、そして國民に奉仕するものに外ならないのであります。この國民の一人一人が、心身共に健全であるか否かは、日本の國が近代文化國家の一員として國際的に世界の福祉と繁栄に貢献しうるか否かの鍵であり、この基礎を培う任務を教育が背負つているのであります。教育委員会制度はこの任務を達成するために、全國都道府県に市町村に設けられた行政機関なのであります。即ち主権の國民にあることを宣言して民主主義の根本原理をうらたてた新憲法により教育について公正な民意を反映し教育の自主性を確認し教育行政の地方分権を行うために、昭和二十三年十一月一日発足し(都道府県 五大都市)昭和二十七年十一月一日全國市町村に設置されたのであります。

地方教育委員会(町村)の住民により選挙された数人の委員からなる委員会形式の行政機関で、合議制によ

りその地(市町村)のすべての教育事務を司るのであります。本村では

委員(委員長) 久松信一(明治二〇、二一、二四生)

委員(副委員長) 岡田節二(明治二六、二七、三〇生)

委員 久松 茂(明治四〇、二二、六生)

委員 根本 登(大正一四、一〇、二六生)

委員 酒井作衛(明治四一、二九生)

教育長 塚本 清(明治三九、二七生)

によつて組織され、事務局としては事務局長兼学校教育係と教育長が担当し、庶務係として酒井伊右衛門社教係として、鷹巣志子の両氏が担当して運営しています。

地方教育委員会の職務や権限は、その村内の教育學術文化に関するすべての事務を管理し執行するのであつて、教育委員会法第四條及び第四十九條に規定された事務を行うため、毎月一回定例会を開き、その他必要に依り臨時会、協議会を開催して、学校教育社会教育の予算の審議や学校管理人事行政教職員給与の適正産業教育の振興、教育内容の刷新及方法の改善、生活指導、社会教育施設の充實と運営の改善など、村の

実情に即した教育行政を行うことになつているのであ



るが、充足は未だ高茂く、日本民主教育の根本である「教育が不当な支配に服することなく國民全体に對し直接に責任を負つて行わるべきである」という自覚のゆゑに公正な民意によつて地方の實情に即した教育行政を行のうという目的を達成するためには尙一段と適正にして妥當な一貫性ある運営につとめなければならぬのであります。殊に本村に於ては、皆様の御協力によりまして中学校舎の新築と小学校舎の整備という大事業を遂行中でありその内容の充實のために行政機関として村民全体への奉仕者としての自覚のゆゑに、社会的現実に即した運営を推進しなければなりません。

一月十一日 西部地方教育委員会聯絡協議会を斗利出村中学校に開催し新治地方教育委員会聯絡協議会の總會提出事項につき研究討議すると共に産業教育施設及生徒のグループ活動につき視察した。

一月十八日 新治地方教育委員会聯絡協議会總會を土浦小学校講堂に開催し、昭和二十八年年度決算昭和二十九年年度予算の審議、役員改選を行い殊に地教委の重要問題である本年度未教職員的人事異動の基本方針につき審議し久松茂氏及教育長が出席活発な意

の交換を行った。

一月二十五日 県教育委員会の助言指導による人事異動に關する方針について研究会を新治地方事務所會議室に於て開催し岡田節二氏と教育長が出席し各町村教委代表と具體的に懇談し本年度未及二十九年年度当初に於ける人事異動の適正を期すべく研究した。

一月二十六日 定例委員会を開催し昭和二十九年年度教育予算編成方針、中学校使丁使用、二十八年度未教職員人事異動方針等につき議決し学校給食、学校移転、三学期行事計画につき懇談した。

二月二日 新制中学校竣工情況調査、設計師上田次郎氏より新制中学校竣工情況について細部調査をなし仲沢氏に對し未完成部分を指示し竣工促進を申入れた。

二月十日 昭和二十九年年度新入児童に對し身体検査知能検査を施行した。本年度新入児童数は男三五女四六計八一名であるが体位普通七九發育優良二で極めて良好な成績であり知能検査の結果に於ても幼児教育の関心の結果がうかがわれて喜ばしい次第であつたが将来一段と皆様の協力を要望して止まない。



小学校便り

冬休み成績展

この冬休み中、家庭に於て学習した成績品を去る一月二十日の学級PTA開催を機に学級毎に展示しましたが例年の様に立派な図画、工作、習字、手芸、研究物等が多数陳列され、PTAの会合に一段と光彩をそえる事が出来ました。次に総合成績が優秀で表彰された児童をお知らせしましょう。

- 一年一組 小川長久 小倉文子 金村美江子 沼尻政子 猪俣桂子 鈴木こと 久保田博子 飯村邦史
- 一年二組 平島紀子 上方真知子 島崎碧 根本千恵子 廣瀬美智子 鈴木敏夫 豊崎幸雄 久松秀子
- 二年 酒井口つえ 岩瀬秀敏 酒井晃 本橋博 大津幸子 露久保のぶ 酒井マリ子 多比良由貴子
- 三年 豊島喜美江 久松雄子 桜井八重子 飯島勲 酒井光正 小池和子 酒井初江 糸賀和子 沼尻保之助 細田文美 庄岡純子
- 四年一組 根本洋一 山崎昭夫 室町功司 大津和

- 子 塚本時子 塚本恒子 増山栄子
- 四年二組 酒井孟夫 酒井和子 小川洋子 沼尻弘子 露久保洋子 金村明子 横山守樹
- 五年一組 沼尻照子 多比良靖子 平島健司 飯島清子 露久保進 露久保清 酒井南美子
- 五年二組 平島藤子 大塚忠晴 中村伸 酒井光子 飯塚聰子 室町多伊子 久松久子
- 六年一組 酒井ふじ子 本橋京子 上方脩三 酒井幸板 小川文子 平島秀夫
- 六年二組 沼野博 飯島浩 本橋美智子 沼尻治子 岩瀬栄 豊島志け子

国民健康保険に關する作品応募入賞者

- まる十月 国民健康保険に關する作品募集がありましたので本校より多数出品しましたところ、県下各校よりの数多い応募作品の中から次の諸君が見事入賞しました。
- 作文 二等 六年 本橋美智子
  - 習字 三等 三年 酒井初江
  - ポスター 一等 四年 酒井孟夫
  - 二等 四年 露久保洋子



六年 飯島池

三等 六年 本橋美智子

佳作 五年 中村 伸、飯泉不沙子、酒

井筒美子、平島健司

●学級PTAの開催

一月二十日 第三学期最初のPTAを開催 講師として茨教委新沼出張所主事 平賀大郎先生をお招きして「P・T・Aの在り方と家庭教育」について有益なお話を拜聴しましたが出席された会員の方々が異口同音に「大変急になり余儀でした」と喜んで下さいましたので学校としてこの上なく満足に思っております。今後権威ある先生をわずらわしてこうした機会を度々もちたいと考えております。

弘報委員会便り

一月号二月号を合併致しまして「教育特輯号」を編輯しました。御家庭の皆様にはじつくりと読んで味つて頂く事が願望です。本号は頁数が倍ですから誌代は一部二十円を頂く訳です。その点御了承の上御協力を願います。三月号は中学校新築落成記念号を発行する予定です。

業座 産講

これからの麦の管理(三月、四月)

谷中 技師

今年の麦の成育は例年に比して非常に進んでいる。試験場の調査では二十三年の暖冬異変の際より一週間程度早くなつてゐるとの事であります。成育の進んだものについてみると幼穂を形成してゐるものもあるので急激な寒波に会つて凍死するものが相当あるのではないかと推察されますのでこれからの麦の管理は特に今年の麦作についても必要であると思はれます。

一、麦踏

今年には徒長気味の麦が多いので特に麦踏みが必要がある。平年の普通の麦作は二月下旬頃から節間伸長を初めます(平均気温度)節間伸長を初めると耐寒性が弱くなり急激に温度が低下すると茎葉ばかりでなく幼穂迄凍死を受けける事が屢々ありますので此の時期に口なるべく麦踏みに依つて茎立ちをおさえることが安全であります。特に本年はその必要性があるでしょう。畑の凍結が融けた時期に初まり節間伸長直前迄土の乾いた時を避んで一―三回進行ふとよい。

二、土入れ

麦作りに土入を行う事に常識となつて居り特に多肥多收穫栽培にはなくてはならない程重要な作業である。土入は行う時期に依つて効果が異なり目的に依つて時期が異なる。これからの土入れの効果は、

- (1) 遅発分蘖の発生を抑へる。
- (2) 弱小無効分蘖の夭折を早める。
- (3) 茎や稈の剛度を広めて日光の透射や通風を良くし健全な生育を計る。
- (4) 根際の乾燥を防ぐ。
- (5) 倒伏の防止。
- (6) 雑草の防除。

麦の分蘖開始は十一月中旬に始まり三月下旬迄一〇日以上に亘つて行はれる。前にも書いた様に分蘖茎の五〇%は無効であり有効茎は一月下旬を境としそれ以後の分蘖は無効であるからこれからの土入れによつて無効分蘖を早期に夭折させることが必要である。無効分蘖が多いと肥料が無駄に使われるばかりでなく有効茎の健全な発育に悪影響を及ぼす。即ち有効茎と無効茎が生存競争をして穂口短少となり稈長が伸びず穂は

細く軽弱となり倒伏の誘因となる。土入の時期は節間伸長を始めた頃第一回(平年は三月初旬)を行ひその後一―二回行えばよいでしょう。

三、追肥(糞肥)

燐酸肥料や加里肥料は全量元肥とすべきであるが、窒素肥料特に硫酸、推肥、尿素等の速効性肥料は全量元肥とすると伸長期に入つてから肥切れし易いから追肥の設計を樹てられる場合が多い。

追肥の効果

- (1) 有効茎の増加
- (2) 一穂粒数
- (3) 粒の肥大

これからの追肥は(2)(3)に重点を置く。竹林を標準にする粒数の決定は大体三月上旬―下旬であり此の時期に吸収される肥料の大きさに関係する。それ以後の肥効は穂の大きさに関係する故に普通の生育のものについて二月下旬から三月初旬頃に施し又量が多い場合には少し早目の方が安全である。追肥の量は硫酸で二メ―三メ程度が適当と思はれる。又大麦と小麦では小麦を稍々早目に追肥するものが安全である。



月日	特松	松	竹	梅	花	1×米
11/23	215	180	128	93	75	
25	180	154	128	101		
27	133	128	103	78	63	上17.7/12
28		128	85	58		
29	171	154	110			
12/1	147	137	117	87	77	上30下12
3	158	154	133	103		
5	137	127	96	76		
6	158	148	128	113	103	
7	168	148	127			
8	170	150	115	75		上 22 中 10 下 23
9	153	133	100	80		上23下20
10	174	155	124			
11	205	195	150			
12	195	175	135			
13	193	178	148	133	118	
15	195	180	135	105	80	上33下22
16	210	190	160	130		
17	186	188	136	106	76	23
18	175	160	130	96		22-18 20-15
19	161	141	118	86	61	
20	174	159	109	79	59	
21	160	150	100	65	35	
22	160	150	120	95	70	
24	140	130	95	65		
25	143	134	113	88	64	
26	131	120	102	77	52	
28	155	130	105	75		
1/2	170	150	125	100	70	
5		159				
7	190	160	130	100		
8	189	154	119			
9.10	147	127	102	77	47	
11	159	139	114	84	74	
14	165	145	120	100		
16	170	150	120			
18	154	134	96	78		
20	200					
21	160	135	105	85		22-
27	170	155	107			

部落別出荷量表

上	境	西坪	西坪
中根	2,688	古米	3,289
上野屋	13,524	大上	29,898
松塚	3,760	大下	9,824
横町	2,873	大下	10,582
金田	625	西野	7,618
	12,065	合計	96,746

備考

電代 16,350  
掛紙 1,000  
荷札 0,500  
計 18,000  
7-11運賃 5,500

一、支拂単価は電抜  
き五貫目単価  
二、四未満は四捨五入  
三、東は電入自単価  
にして主として梅  
級以下のものを

# トマト

## 品種と早熟栽培の指針

### 品種と特性

近年一代雑種の新品種が競争的に作出されているが代表的品種の特性は大体次のようです。

○古谷早生(埼玉県古谷茂氏育成)極光×早生世界一  
桃色系整形で六〇〜七〇及の中果 及当二〇〇貫  
六月中下旬より採収可能 比較的耐着性品種で 一段  
花の着花良好、肥沃地向

○新星(千葉農試育成)豊玉×ジュンピンク  
桃紅色系 球状整一 極早生小果品種四〇〜五〇及  
畹地の早熟栽培に最適。早期収量の多いのが特徴 果  
約的管理と多肥栽培により最も高度の能力を発揮する  
耐病性弱 果の外皮に青筋が出る。

○新豊玉一号(千葉大育成)豊玉×成功  
桃紅色系正形平型中果五〇〜六〇及、一花房粒数は  
数個、色廻り早く多肥集約栽培が必要 耐病性中  
○星文一号(みかど農場)市原早生×育三号  
早生大果 耐病をねらった品種 熟期はや、遅れるが

福寿二号と相前後する。六〇〜七〇及の中果 早熟  
極めて強く耐病性 各地に適応し収量多し

○星文四号(みかど農場)市原早生×ジュンピンク  
新星と同様の栽培目的に用いて優秀 極早生小果の品  
種で耐病性及収量は新星より上位、集約早熟地向品種  
○福寿二号(大阪農試育成)デリシマス×ジュンピンク  
最も歴史の古い一代雑種 三〇〜四〇及の小果 変  
型少く耐病性も強い、低地の早熟栽培向、但し多くの  
種苗会社により採種されているため、品種の特性に相  
当の差異がある。

○市原早生(千葉県東海村)アーリーピンク系改良種  
桃色系、稍平型五〇〜六〇及中果 一段は小果奇  
型が多いが、二段目三段目の早期収量が多い、多肥栽  
培に堪える早熟用品種、耐病性中、但し数系統に分属

### 観床と下種

育苗期間は七十日〜七十五日を目標とし最大八  
十日を超えない事が肝要  
観床は踏込の高さ一尺六寸位(五層〜七層)  
標準は葉二〇〇束(約四〇貫)松葉六束 米糠一斗  
水一石二斗〜一石五斗



- 発芽の適温C二十五度(踏込の上部でC二十五度)
- 発芽後の温度はC二十二度(二十五度)
- 床土二寸五分(堆肥七、田土三、木灰一斗)
- 種子は一晝夜微温湯に浸し、ウスフルン十倍液に二十分間浸し消毒後下種、
- 畦中三寸 一畦一〇〇(一五〇粒位、覆土は一〇分程度にし、充分灌水してスダリ葉をうすく掛ける、
- 本葉一枚の頃 三分(四分間隔に間引する、
- 灌水は微温湯を用い午前十時頃、ドビンで畦間に灌注する、
- 開閉 段木を用い床内の過湿過乾を調節する、

第一回移植

- 1. 時期 下種後二十五日(三十日以内)
- 2. 温床 大体親床程度の温度(C二十五度)が必要であり、踏込材料は親床の七割程度にて可、移植七百(十日前に踏込み、充分発熱してから移植する事、床土三寸(堆肥六、田土四、木灰一斗)
- 3. 間隔 畦中三寸株間三寸(一植五〇〇本程度)
- 4. 灌水 葉裏を見せるのが乾いた証固であるから親床の方法に準じて適当に灌水する、

- 5. 晝温夜冷、晝間C二十五度(三〇度位、夜間C一〇度)一五度位を目標とし、段木、掛莖によつて調節する、

第二回移植

- 1. 時期 第一回移植後三〇日(三五日(定植前十五日(理想))
- 2. 温床 親床の半分の材料を用い、五日(七日前に踏込む、温度は移植時だけ十五度(二十度あれば可、床土四寸(五寸(堆肥五、田土五、木灰一斗)最初から深床に作る事を避け、発育につれて順次に引き上げて行く、
- 3. 間隔 六十日苗の場合四寸角(一植三〇〇本)七十日苗の場合五寸角(一植一九〇本)八十日苗の場合六寸角(一植一四〇本)
- 4. 管理 常に換気に注意し、特に晝温夜冷に細心の注意を拂う

定植前の管理

- 1. 灌水と換気 水分が切れたり、空気がうつ滞すると、発育障害を起し、營養失調に陥りがらだから、常に適当の灌水と通風をばかる、徒長の場合も発育不良

- の場合と共に、花蕾が貧弱になり下葉が黄変する、即ち落花の原因となり初期収量の低下を来す、
- 2. 順致 晴天無風の日は障子を除いて日光の直射をばかる、定植一週向前より霜害のない限り夜分も障子を除く、
- 3. 根廻り 定植前一週向前に十文字に包丁を入れる又は株のスラシを行う、急に高温になる時期であるから水分の不足により日中葉の萎れを防ぐため、灌水を充分する、
- 4. 苗取り前日充分灌水して根座が大きく着くようにする、
- 5. ホルモン散布の場合には綿密に周到に行う事

本圃の準備

- 1. 荒起 二月中に石N反当六貫(十貫、トーマス燐肥十メ、石灰二〇)三〇メを全面散布して荒起しを行い、風化作用を促す、
- 2. 整地 四月上旬に整地し、同時に元肥を施す、
- 3. 元肥 堆肥四〇〇(五〇〇メ、米粕、油粕、雞糞等成分量でN三メ)四メ程度、過燐酸十メ、加里二メを畦毎に蓋肥として施す、

- 4. 定植一週向前までに支柱を立て、風除けを作る、
- 5. 畦中株間口品種により適宜に設計する、

種子 蒔田 寸数

2.5 x 1.5	3000	(総相用蒔田寸数)
2.5 x 1.5	2500	( )
2.7 x 2.6	2600	(相用蒔田寸数)
3.0 x 2.5	2400	(相用蒔田寸数)
2.9 x 2.8	2400	( )

定植と追肥

- 1. 時期は五月三日(七日頃、気温だけにとらわれず、地温(C十二度(十五度)が上つてから植える事、強風の日は雨天を避けて、晴天無風の日を選ぶ、
- 2. なるべく浅植とし、根元を固めない事、灌水すれば活着もよく落花の防止にもなる、
- 3. 花房は外側に向ける、
- 4. 根付肥は根焼けを起さないよう極く少量施す、(反当硫酸ニメ(三メ程度))
- 5. 第一回追肥 定植後十五日以内(五月二十日前後)Nニメ、P一メ、Kニメ(成分量)
- 6. 第二回追肥 第一回追肥後十五日(二十日以内)





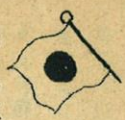


新入館図書目録 公民館図書室

(31)

書名	著者名	書名	著者名
角田 喜久雄	角田喜久雄沖繩健児隊	大山 昌秀	
横溝 正史	横溝 正史醒めて見る夢	立野 信之	
罪と罰	坂場 正天人肉の夢を穿つ	吉野源三郎	
御園	富田 常雄 野戦看護婦	安谷 貞子	
青白き裸女群像	種 外 男 社会福祉協議会誌本 収 買	一	
女 覆 記	林 芙美子 昭和新修俳句名鑑	宮本 公道	
道絶えず	小山 景子 唐手三四郎	石野徑一郎	
政 星	丹羽 文雄 現代長編名作全集	吉川 英治	
専	北原 武夫 白鳥の騎士上	北村 寿夫	
良人の青春	林 房 雄 国民の教育	北原 穂忠	
専の青春	〃 〃 〃	立政條約締結篇	徳富猪一郎
息子の青春	〃 〃 〃	読切名作集	芭 采 樓 一
稲葉小僧	土師 清二 母界文明の新紀元	姉崎 正治	
東京無宿	中野 実 凡人 朝	真 澄 浪 晋	
幸福さん	源氏 龜太 新日本地囃	西沢 太郎	
還暦を控えて	富田 邦彦 新古今地囃		
街に雨降る	菊田 一天 星と宇宙		

書名	著者名	書名	著者名
大東軍機史	滿洲篇上下	第九卷	川端 康成
〃	〃	第十卷	安 徳 隆 成
〃	〃	第十一卷	天 野 良 成
〃	〃	第十二卷	徳 田 秋 声
〃	〃	第十三卷	武 小 路 実 忠
〃	〃	第十四卷	小 林 孝 雄
〃	〃	第十五卷	上 原 謙 一
〃	〃	第十六卷	宮 田 実 治
〃	〃	第十七卷	川 崎 武 一
〃	〃	第十八卷	大 井 次 郎
〃	〃	第十九卷	尾 崎 士 郎
〃	〃	第二十卷	林 芙 美 子
〃	〃	第二十一卷	石 坂 洋 次 郎
〃	〃	第二十二卷	高 村 光 太郎
〃	〃	第二十三卷	萩 原 遼 太郎
〃	〃	第二十四卷	三 島 由 紀 夫
〃	〃	第二十五卷	昭 和 劇 曲 集
〃	〃	第二十六卷	阿 部 次 郎
〃	〃	第二十七卷	小 宮 次 郎
〃	〃	第二十八卷	吉 川 英 治
〃	〃	第二十九卷	小 泉 信 三



成人式典とその人々

国民の祝日に関する法律が施行されて才六回目の成人の日を迎い、本村に於ても五十七名の成人者を招き公民館に於て成人式典を行い文化口家民主田寮の中核となるべき青年男女が成人として榮譽と重責とを自覚し各自の身体を強健にし自主的であると共に協力的であり豊かな政養を身につけた文化人たるべく、こぞつてこれを祝福激励したのであります。この日は午前十時より來賓多数の臨席のもとに、かまうちにも和やかに式をあげ成人証書及記念樹を授けし教育首庁新治出張所長酒出主計先生の講演を聴き新打決意のもとに青春の血潮を湧かせて散会した。当日の成人証書を授けられた成人者は左の通りです。

- 酒井作美 酒井久 酒井公明 酒井和二 酒井道子
- 沼尻文字 本橋和子 本橋俊光 本橋勇 望町登 大津ふく 望町さくの 矢口隼夫 久保田武 岡田仙毅
- 飯島庄治 飯塚糸子 飯塚好枝 沼尻横江 沼尻さみ 久保田智子 久保田敦之 久保田尚夫 宮本康男 島

青年会たより

○十二月三十日 昭和二十九年度新役員改選のため会長副会長候補予選会を各支部一斉に開催し左記十三名を選出する。

- 飯塚仁 久保田博 小林守 米栖正一郎 沼尻俊一
- 塚本博直 酒井久一 花南冬雄 柳沢清 小島孝 酒井米子 飯塚糸子 豊島光子 酒井隼子 沼野和子
- 一月十三日 成人式典に代表として酒井作美寺田せつこの両君を派遣した(引率者会長副会長、酒井助役)
- 一月十五日 新年度役員選挙開票の結果 会長七五 粟小林守次 飯塚仁 副会長九三 粟酒井米子 四 粟飯塚仁 五 粟米栖正一郎 次 粟沼尻俊一 飯塚糸子 であつた。

- 崎貴 宮本直之助 沼尻静江 横山武夫 長沼勝 大山 山司 大山文字 柳下満 加藤秀道 諸井俊夫 片岡政好 木村勝 沼尻考夫 増山ミサオ 久松栄樹 久松庄次郎 豊島邦雄 寺田清 寺田せつ 豊島庄一郎 豊島とさわ 豊島大 柳沢昭子 根本さだ子 根本和枝 五頭正一 岡野いち 飯島ふく 酒井誠 久保田昭夫 久保田八重子 久保田尚勇 鴻巣勉



青年学級一・二月 授業時間割

日	学級	教科	担任	日	学級	教科	担任
一月十一日	上	社会	鈴木	一月十一日	大	社会	鈴木
一月十三日	上	国語	鷹巣	一月十三日	古	社会	鈴木
一月十六日	上	珠算	根本	一月十六日	古	珠算	猪俣
一月十八日	上	農業	沼尻(三)	一月十八日	古	珠算	沼尻(三)
一月二十日	上	理科	栗栖	一月二十日	古	社会	岡田
一月二十二日	上	社会	桜井	一月二十二日	古	珠算	猪俣
一月二十五日	上	農業	久松	一月二十五日	古	農業	沼尻(三)
一月二十七日	上	珠算	根本	一月二十七日	古	理科	栗栖
一月二十九日	上	保健	岡田	一月二十九日	古	社会	栗栖
一月三十日	上	農業	沼尻(三)	一月三十日	古	国語	木村
二月九日	上	社会	鈴木	二月九日	古	社会	沼尻(三)
二月十一日	上	国語	鷹巣	二月十一日	古	保健	岡田
二月十三日	上	農業	沼尻(三)	二月十三日	古	珠算	沼尻(三)
二月十六日	上	理科	栗栖	二月十六日	古	社会	栗栖
二月十八日	上	珠算	沼尻(三)	二月十八日	古	農業	大久保
二月二十日	上	社会	鈴木	二月二十日	古	珠算	大久保
二月二十三日	上	農業	大久保	二月二十三日	古	理科	栗栖
二月二十五日	上	珠算	酒井(那)	二月二十五日	古	社会	栗栖
二月二十七日	上	農業	大久保	二月二十七日	古	珠算	猪俣

栄村新年句会 二月五日 於公民館

兼題 初詣 初鏡 冬季雜詠 総互送す

断はるにすべし又も炭をつぐ  
 新らしきネクタイに香え初鏡  
 初鏡 黛墨匂ふ 化粧の向  
 灯を入れて燦くしけづる 初鏡  
 からころと道一すじに初詣  
 初鏡 ぬす見程に風邪の妻  
 泥雪の消えざるままに香樂し  
 屋根雪の焚火の煙り雪霏々と  
 筑波連山霞やはらかに初詣  
 背の狭に鈴を振らせて初詣  
 初鏡 踊る若さの類も 眸も  
 好く遊ぶ子は悴かむで戻り来ぬ  
 夫の掌の両肩にあり初鏡  
 巨杉纏ふ月の光踏み初詣  
 初鏡 女四十路の身だしなみ  
 初鏡 青春の誇りルージュ 渡く  
 残雪の庭へ鶴等を開放す

- 岩瀬 水哉
- 沼井 雪花
- 永田 晋雪
- 沼尻 亮風
- 久保田 啓栄
- 酒井 葉泉
- 飯島 峰雪
- 坂本 暮村
- 石田 理一路
- 宮本 公道
- 秋元 虚受
- 植野 看風
- 羽成 虚水
- 田川 梅風
- 酒井 雪花
- 永田 晋雪
- 矢名

席題 早春雜詠

照る湖に鳴める雀の梅早し  
 こころ元武家屋敷とや落の首  
 うしろより寒風坂を馳せ下る  
 残雪を屋根裏に見せ句座の窓  
 今もなほ古式ゆかしき追儺祭  
 叙とれば早春の野に筑波渡し  
 早春や 完成急ぐ新校舎  
 新煮え 追漕の豆を一にぎり  
 初句舎内外に人を行たしめぬ  
 早春の風やわらかし今日の晝  
 ふることは庭舎にも年の豆まきて  
 初詣 外人バンパンを伴はず  
 大神祭 待つ向空女つく手越かな  
 四つ手小舎飾りかけて新しき

附志特

- 金参十円 中学校新築費寄附
- 金貳十円 学校賤費用新炊費寄附
- 金壹千円 学校基本財産寄附
- 金五万円 中学校新築費寄附

- 沼井 雪花
- 沼尻 亮風
- 坂本 暮村
- 永田 晋雪
- 酒井 葉泉
- 田川 梅風
- 秋元 虚受
- 同 人
- 宮本 公道
- 片岡 正徳
- 石田 理一路
- 矢名



# 電話室

## 村から家庭へ

○十二月五日 午後一時より青年学級講師協議会を公民館に開催、全午後七時半より青年学級に属する青年会の協議会を同館に開催

○十二月七日、午後三時より俵米について農業委員及生産組合長の合同協議を公民館に開催、同午後七時より廿八年度青年学級定期講座開講式を同館にて挙行す

○十二月十三日、午前七時より土浦市外一五ヶ町村土地改良区総代選挙公民館にて執行

○十二月十六日 午前九時より七、五、三合同祝賀の件につき各分館長及保護者代表の協議会を公民館に開催

○十二月十七日、午前九時より公民館に於て農業改良相談所より高野氏の引牽せる 山田、中山両栄養師により、婦人会、女子青年合同の粉食講習会開催、全午後三時より全館にて教育委員会開催

○十二月廿日 午前十時より公民館に於て七五三合同祝典挙行、

十二月廿五日、午後一時より公民館にて教育委員会

定期会議開催、同日朝に於いては廿八年度俵米基本割当一、二、三の石 確保量二、一、一割計二田六六石の俵米を完了した、

○十二月廿六日 午前九時より「ゲラウテリマ」予防注射を公民館において行う、午後一時より同館において統計調査員会議を開催、

○十二月廿七日 女子青年会、乾氏を聘して公民館に「あんま」講習会を開催、

○廿九年一月九日、午後七時より公民館において農業生産組合長合同協議会開催、

○一月十三日 県の成人式へ代表酒井作美 寺田せつこの両各助役酒井嘉幸 青年会福会長藤沢邦雄両氏引牽の由にて参列

○一月十四日 午前九時より「ゲフテリマ」予防注射を公民館にて行う、同日午前九時より婦人会 女子青年共催の粉食料理講習会を同館に開催

○一月十五日 午前十時より公民館において成人式及成人祭を挙行

○一月十六日 午後一時より公民館に於て、元代職士北沢直吉氏の外遊報告演説会開催